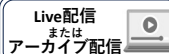


★ 評価パネルのバラバラなコメントを、“使えるデータ”に変える。
生成AIで評価言語を整理・標準化し、意味でまとめて分析につなげる実践セミナー

セミナーNo.605116



生成AIを用いた官能評価の設計と データ解析・構造化

—ばらつく評価言語・データの“まとめ方”—

- 日 時：2026年5月22日(金) 10:00～16:00 ●聴講料：1名につき 55,000円（消費税込、資料付）
- 会 場：Zoomを使用したLive配信 【1社2名以上同時申込の場合のみ1名につきxx,x00円（税込）】
- ※アーカイブ配信は6/2～6/12に実施 【大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。】

●講師：(株)ジャパン・ダイレクト・リサーチ 代表取締役 中野 教子 氏

【講座主旨】官能評価は、ひとが使う日用品や食品等の品質・特性を人間の感覚で捉える重要な評価手法です。しかしながら、同じ製品を評価していても、評価をする人の文化や官能評価の経験の差等によって評価用語の細かさに違いが生じる問題が生じています。このような評価言語のばらつきは、官能評価データの活用を妨げる根本的な課題です。

本セミナーでは、生成AIを活用し、このような「バラバラな官能評価」を構造化・標準化するための実践的な方法を学びます。

具体的には、評価がバラバラになる構造的な原因を理解した上で、生成AIを用いた評価用語リストの設計・評価シートの作成、収集したコメントデータの前処理と解析、そして異なる表現で記録された評価用語を「意味でまとめる」クラスタリングから評価用語リストの構築までの流れをカバーします。

生成AIは、大量の評価用語の整理・分類を高速に行う便利なツールです。しかしながら、AIが生み出す内容は、最終的に人間が精査し、その内容を活用するかどうかを判断する必要があります。本セミナーを通じ、AIと人間の役割を明確化し、人間が主体となり、AIを活用して官能評価を効率化する力を養います。

本セミナーでは、講義と演習を交え、実務として生成AIを活用した官能評価の設計から活用までを実践できる力を身につけることを目指します。

【講座内容】

1. 官能評価が「バラバラになる」原因とは

- 官能評価の基礎 - 官能評価とは何か
- 評価が「バラバラ」になる根本的原因

2. 生成AIを用いた官能評価の設計

- 生成AIを官能評価に活用する前に
 - 生成AIが得意なこと・不得意なことの理解
 - 人間の感覚とAIとの関係：
「整理者・翻訳者」としてのAIの役割
- 生成AIを活用して官能評価方法を設計するには
 - 生成AIを活用する前の評価目的の明確化

・AIを活用した評価シート・評価手順の作成と人間による精査

【演習①】生成AIを用い、バラバラなコメントから評価用語リストを作成する

3. 評価データの前処理と解析

- 評価データの前処理する理由と前処理の基本
 - 生データの課題点：表記ゆれ・欠損・外れ値・曖昧表現
 - 前処理の目的と手順
(データクリーニング・正規化・カテゴリ化)
- 生成AIを使ったデータの前処理
 - 自由記述データの自動クリーニング、ノイズの除去
 - 感情極性（ポジティブ/ネガティブ/中立）の自動ラベリング
 - 強度推定（「かなり」「少し」「非常に」等の数値化）
 - AIへの指示文（プロンプト）作成のポイント

c. データ解析の基礎

- 主成分分析（PCA）とクラスター分析
- コレスポンデンス（対応）分析と共起分析
- 分析ツール（Excel、R等）の選択と使い分け

【演習②】コメントデータを生成AIで前処理し、集計する

4. バラバラな評価言語を「意味でまとめる」手法

- 「意味でまとめる」とは
 - 意味による分類：似た言葉を概念でグルーピングする方法
 - 上位概念化（抽象化）と下位概念化（具体化）
- 生成AIを使った意味による分類
 - 生成AIを使った自動的分類
 - 人間によるAI案の修正と確認

【演習③】AIを使い、バラバラな評価コメントを意味で分類する

5. よくある落とし穴と対策・まとめ

- AIを導入するステップ
- 倫理・品質管理上の注意点とハルシネーション対策
- 社内合意形成のポイント

【質疑応答】

●申込方法

- 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

「生成AI官能評価」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

- Live配信 (No.605116) 開催日:5/22
- アーカイブ配信 (No.606161) 配信期間:6/2～6/12

- ・申込書に必要な事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

- 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 定員になり次第、申込みは締切となります